

平成30年度 第2回 血友病診療センター運営委員会

日 時： 平成31年1月7日（月）17時30分～18時30分
場 所： 診療棟3階西 カンファレンスルーム2, 3
出席者： 小林委員長, 藤井副委員長, 木村, 川口, 山崎, 池田, 武澤, 藤田, 河江
代理（岩城）, 梶原, 岡田 各委員
欠席者： 中島, 松原, 柴 各委員

報告事項

1. 血友病診療センターにおける現在の患者数について

小林委員長より本院通院歴のある血友病および血栓止血異常症患者の概況について報告があった。またその一覧を電子カルテシステムのファイルサーバーにアップし、本会委員のみがその情報にアクセスできるようにグループ設定を行う方針となった。

議 事

1. 血友病診療センターホームページについて

山崎委員より資料1に基づき、血友病診療センターホームページ案の提示があった。小林委員長より広島大学病院のホームページ（以下、広大 HP）内で一画面内に収まる（スクロールすれば全体を閲覧できる）形式がよいとの提案があった。また、藤井副委員長より、スタッフ紹介で医師および歯科医師以外の委員の顔写真をどうするかを各委員に可否を問う必要があるとの提案があった。これらのことを踏まえ、山崎委員が広大 HP 管理者に問い合わせ、ホームページ作成することとなった。また、医師および歯科医師以外の委員の顔写真掲載の可否に関しては、各委員が山崎委員へ連絡する方針となった。

2. 血友病患者等の急変時対応の問題点について

山崎委員より、資料2を用いて後述のように問題が提起された。

- ・救急隊からの搬送受入要請の窓口の対応者（二次受入の場合は ICU 看護師）が血友病に対する理解が乏しい場合、緊急性の高い血友病以外の疾患（骨折や頭蓋内出血、心筋梗塞など）に着目し、当該科医師のみと受入可否の相談をしまい、血友病患者の受入を断る可能性がある。
- ・他院主治医からの転院相談の場合、主疾患が血友病以外の場合血液内科にその情報が回らないまま、本院への転院は不可と返事をしてしまう可能性もある。

これまでも、このような事例が発生しているため、少なくとも救急隊からの搬送受入要請の窓口となる医療者に血友病患者であれば全例受入が必要であることへの理解を求めることが対策として挙げられると提案があった。

川口委員より、患者プロフィールに絶対に断らないように記載することの提案があり全員一致にて支持された。藤井副委員長より、急変時対応としては、まずは血友病患者の搬送受入要請を断らないように血友病関連のフローチャートを作成し、医科領域業務連絡協議会などでアナウンスを行う、あるいは病院長命にて各診療科に周知徹底するよう呼び掛けていただくなどの対策案を提示された。以上のことを踏まえ、山崎委員がフローチャートのたたき台を作成することになった。

3. 実績報告書作成について

藤井副委員長より、血友病診療センターの実績報告として、難病対策センターの実績報告書様の冊子作成の可否の提案があったが、小林委員長より、全国に活動実績を発信していくことは必要であるため、血友病診療センターホームページ内に掲載してはどうかとの提案があり、その方針で全員一致した。

4. 血友病診療センター運営委員会における事務員について

山崎委員より、今後の事務仕事についての問題提起があった。藤井副委員長より、病院総務の三分一様より、事務員を設けることの許可は得ているため、山崎委員が地域連携室の佐藤様に早急に連絡を取り、事務員の役割（委員会開催日時の調整や会議資料の作成）を伝え、お願いにあがるようにと発言があった。小林委員長より、自らが佐藤様へ本委員会の事務仕事を引き受けていただけるよう依頼をする方針となった。また、木村委員より、ドクターズクランクへ依頼も可能ではないかとの提案もあり、同委員に確認していただく方針となった。

その他

1. 次回の委員会は、平成31年3月に開催する予定とした。詳細に関しては、各委員と調整を行い、追って報告することとした。

以 上